

# 教 員 個 人 調 書

履 歴 書 (記入例)				
フリガナ	ニンゲン タロウ		性別	Ⓐ・女
氏 名	人間 太郎			
現住所	〒339-8539 埼玉県さいたま市岩槻区馬込1288 ヒューマンハイツ333号室			写真貼付 (4cm×3cm)
生年月日 (年齢)	昭和〇〇年 〇〇月 〇〇日 (満〇〇歳)			
電話番号	〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇			
FAX 番号	該当なし ①			
メールアドレス	taro_ningen@human.ac.jp			
最寄駅	東武 野田 線 岩槻 駅 (通勤時間 時間 40分)	配偶者 ①・無	配偶者の 扶養義務 ①・無	扶養家族 2 人
学 歴				
年 月	事 項			
昭和〇〇年3月 昭和〇〇年3月 昭和〇〇年4月 昭和〇〇年3月 昭和〇〇年4月 平成〇〇年3月  ②	××県立××高等学校卒業 ××大学××学部××学科卒業 ③ ××大学大学院××研究科××専攻修士課程入学 ××大学大学院××研究科××専攻修士課程修了 (学位 例:経営学修士など) ××大学大学院××研究科××専攻博士後期課程入学 ××大学大学院××研究科××専攻博士後期課程修了 (学位 例:博士(医学)など) (××大学大学院××研究科××専攻博士課程修了 単位取得満期退学 など)			
職 歴				
年 月	事 項			
平成〇〇年4月 平成〇〇年4月  平成〇〇年9月  平成〇〇年4月  平成〇〇年4月  平成〇〇年4月  平成〇〇年4月  平成〇〇年4月	××大学助手 (～平成〇〇年3月) ××短期大学非常勤講師 (～平成〇〇年3月) 科目名: ××論 ④ 〇〇大学非常勤講師 (～現在に至る) 科目名: 〇〇学 ××大学専任講師 (～平成〇〇年3月) 科目名: 〇〇学 ××大学助教授 (～現在に至る) 科目名: 〇〇学 △△短期大学非常勤講師 (～現在に至る) 科目名: △概論 ××大学大学院××研究科××専攻 助教授 (～現在に至る) 科目名: 〇〇学、××論			

学 会 及 び 社 会 に お け る 活 動 等

現在所属している学会	××学会 ××県××専門委員会
------------	--------------------

年 月	事 項
昭和〇〇年4月	④
平成〇〇年4月	
平成〇〇年4月	
平成〇〇年3月	

賞 罰

年 月	事 項
平成〇〇年3月	××大学××賞 優秀論文賞受賞

現 在 の 職 務 の 状 況

勤務先	職名	学部等又は所属部局の名称	担当授業科目の名称	備考
××大学	助教授	××学部××学科	××概論	
××大学大学院	助教授	××研究科××専攻	××特論 ××研究	
〇〇大学	非常勤講師	〇〇学部〇〇学科	〇〇学	
△△株式会社	部長	□□開発部	⑤	研究職

上記のとおり相違ありません。

平成 1 × 年 2 月 1 日

⑥

氏名

人間 太郎

⑧

# 教育研究業績書 (記入例)

平成 1× 年 2 月 1 日

氏名 人間 太郎 人間

研究分野	研究内容のキーワード
社会医学	公衆衛生学・健康科学

## 教育上の能力に関する事項

事 項	年 月 日	概 要
① 1 教育方法の実践例 ○×大学における授業形態	H12.4~H14.3	○×大学において、「××」の講義を担当し、△△を行うにあたり、通常の講義ではなく□□を取り入れることにより学生の関心度を上げる取り組みを行い……………
② 2 作成した教科書、教材 ××学概論	H.13.6.12	日本における××について、大学の学部生を対象に概説したものの。××の成り立ちから……………
③ 3 教育上の能力に関する第三者の評価 ○×大学での授業評価	H14.3	○×大学において「××」の講義を担当し、平成××年度の学生による授業評価において以下のような評価を得た。(10点満点) 1 授業の内容 8.19 2 講義実践 7.11 3 質問指導 8.01
④ 4 実務の経験を有する者についての特記事項 ○○病院での実習指導	H0.4~H×.3	○○病院勤務時、看護大学からの実習生を受け入れ指導を行い、主として……………
⑤ 5 その他 ○×大学○○学部設置委員 「○×論」	H12.4~H14.4  H12.4~現在に至る	平成○○年度から左記学部を開設するに伴い、××学部設置委員として、新たな学問分野の……………  科目概要：……………

## 職務上の実績に関する事項

事 項	年 月 日	概 要
⑥ 1 資格、免許 医師免許 TOEIC	H. 3. 0. 0 H. 2. 0. 0	第……………号 ××点
⑦ 2 特許等 △△××	H. 10. 5. 10	第……………号 △△が空気中での……………
⑧ 3 実務の経験を有する者についての特記事項 医師	H0.4~H×.3	○×病院において整形外科医として勤務し、主として△△に強みを持ち、症例研究会では……………
⑨ 4 その他 セクシャル・ハラスメント委員	H. 12. 4. ~H. 13. 3.	○×大学においてセクシャル・ハラスメント委員を担当し、セクシャル・ハラスメント防止のガイドラインを……………

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行、又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
<p>(著書)</p> <p>1. ××の原点とその普及について</p> <p>2. 地域社会の中の××</p> <p>3. ××学概論 (再掲)</p> <p style="text-align: center;">12</p>	<p>共著</p> <p>共著</p> <p>単著</p>	<p>H.12.3.4</p> <p>H.13.5.7</p> <p>H.13.6.12</p>	<p>〇〇書房</p> <p>△△出版社</p> <p>××大学出版会</p>	<p>××についての歴史を振り返り、その原点を探り、□□□にあることを記した。その視点から現代の××について、〇〇界や●●界において、また社会一般において今後どのように普及していくかの考察を行い、3つの方向性を示した。担当部分：第1編～第4編 p9～p117 (共著者：田中一郎、人間太郎、鈴木花子、佐藤次雄)</p> <p>ここ十数年の間に問題になっている××について、地域社会の視点から……………</p> <p>担当部分：序章、第6章～第8章 p12～p18、p99～p135 (監修：人間太郎 共著者：人間太郎、小林二郎、高橋三男渡辺四朗、渡辺五十夫)</p> <p>日本における××について、大学の学部生を対象に概説したもの。××の成り立ちから……………</p>
<p>(学術論文)</p> <p>1. ××における〇〇の考察</p>	<p>共著</p>	<p>H.12.3.21</p>	<p>『日本××学会誌』</p>	<p>過去20年にわたる××の実態を△△の観点から……………</p> <p>(共著者：人間太郎、小林二郎、高橋三男渡辺四朗、渡辺五十夫)</p> <p>共同研究につき本人担当部分抽出不能 筆頭論文</p> <p style="text-align: right;">11</p>
<p>(その他)</p> <p>1. ××について</p>	<p>単著</p>	<p>H.12.3.12</p>	<p>日本××学会 第〇〇会全国大会</p>	<p>日本における××について、特に△△を中心に基調講演を行い、……………</p>